

いじめをしない子に育てるために

子どもが安心できる環境をつくっていくことが大切です

ストレスをためない親子関係をつくっていきましょう

- ・食事の時にお子さんの表情に目を向けていますか？
- ・お子さんに日ごろから話しかけ、会話を楽しんでいますか？
- ・お子さんの話に耳を傾け、「そうね」「うんうん」と相づちを打って聴いていますか？
- ・家族の中に毎日笑いがありますか？
- ・お子さんの良いところを見つけて自信を深めるようなほめ方をしていますか？
- ・お子さんのよくできること、得意なことを伸ばしてあげていますか？
- ・家庭内の約束事について話し合っていますか？
- ・お子さんが興味をもっていることを、一緒に楽しんでいますか？
- ・悪いことをしたとき、行為そのものを叱っていますか？



大人は子どもにとって最も大切な教師です

まず親が手本を示しましょう

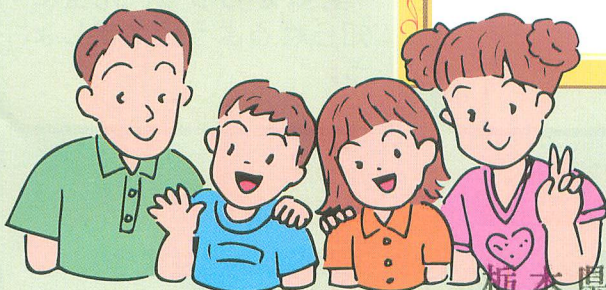
- ・家族仲良く、協力して生活していますか？
- ・気持ちのよいあいさつをしていますか？
- ・学校や地域の行事に参加していますか？
- ・ご近所づきあいをしていますか？
- ・人を大切にしたり思いやったりすることを心がけていますか？
- ・ストレスを上手にコントロールして、心の健康を保つよう心がけていますか？
- ・自分の仕事に一生懸命に取り組んでいる姿を見せていますか？



いじめをしない子に育てるために、どんな家庭をつくりたいですか？

わたしの家は

家庭



あなたのご家庭では、どんな言葉が入りますか？
例) あたたかい なごやかな ルールを守る

いじめのサインに気づきましょう

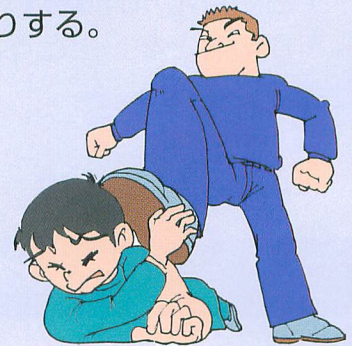
いじめられている場合には次のような変化がみられることがあります

- ・けがや体調の不良を訴える。食欲が落ちる。表情が暗くなる。
- ・いらだつことが多くなる。親への反抗やきょうだいげんかなどが多くなる。
- ・親を避け、部屋に閉じこもりがちになる。
- ・持ち物がなくなる。金銭の使い方が荒くなる。
- ・登校を渋る。早退が増える。学校のことを話したからなくなる。
- ・カバンの中に護身用の品物を持つようになる。
- ・友人からの電話の後、落ち着かなくなる。



いじめをしている場合には次のような変化がみられることがあります

- ・買い与えていないものが家にあったり、借り物が多くなったりする。
- ・小遣いの割に、遊びが派手になる。
- ・人を軽蔑するような発言が見られる。
- ・表情が陰しくなる。
- ・友人関係の中に上下が感じられる。



気になったら…

まずは、お子さんから話を聞いてください。
そして、学校に相談してください。

いじめがあるとわかったら

いじめられている子には

- ・お子さんのつらい気持ちに寄り添いましょう。
- ・絶対に守ってあげると伝えましょう。



いじめている子には

- ・いじめは絶対に許されない行為であることを教えましょう。
- ・お子さん自身に困っていることや、満たされないものがないか話し合しましょう。

いじめを知っている子には

- ・話をよく聞き、どうしたらよいか話し合しましょう。
- ・いじめられている子に声をかけるよう伝えましょう。
- ・勇気をもって、先生に知らせるよう伝えましょう。

具体的にどうしたらよいかを学校とともに考えていきましょう

いじめは家庭と学校が連携することにより、解決への一歩が踏み出せます
栃木県教育委員会